

# 観光ビッグデータを構成する各種データについて(イメージ)

○観光行動及び行動に影響を与える周辺状況を含む大規模・多種・複数情報源由来のデータ群

## 利用者データ活用の流れ

【各種サービスでの蓄積情報】

- ・ポータルサイト
- ・WEB検索
- ・経路検索
- ・宿泊・交通予約
- ・カーナビ
- ・ETC
- ・プローブ情報（プローブカー、バスプローブ、タクシープローブ）
- ・交通事業者（鉄道会社、航空会社、海運会社等）の蓄積データ
- ・旅行業者の蓄積データ
- ・観光施設の蓄積データ
- ・公共空間のセンサー（防犯カメラ、交通量カウンター）



観光産業に係る  
各種サービス等  
(民間のデータ)

政府・自治体・  
公共サービス等  
(公のデータ)

観光行動を伴う  
個人による  
サービスの利用

## 「オープンデータ」の流れ

【公共サービスでの蓄積情報】

- ・地図情報、地理空間情報（GIS）
- ・道路交通量情報
- ・交通情報
- ・天候情報
- ・公共施設の情報
- ・観光資源の情報
- ・文化財等の情報
- ・国立公園の情報
- ・緊急時、非常時の情報（避難場所）
- ・各種統計（旅行統計、経済センサス等）
- ・行政機関の施策、取組内容に関する情報



## スマートフォン等の普及による観光客の行動のデータ化の流れ

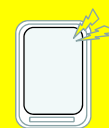
【SNSでの情報】

- ・Twitter
- ・Facebook



【スマートフォン、センサー等での情報】

- ・位置情報（GPSロガー）
- ・近傍検索（チェックイン）
- ・位置情報付きでの情報閲覧
- ・ライフログ
- ・生体センサー（心拍等）
- ・ポイント天候（気温、降水量、風）



【アプリ、ゲーム等での情報】

- ・位置情報利用ゲーム
- ・宝探し
- ・スタンプラリー
- ・AR（仮想現実感）
- ・聖地巡礼



ビッグデータ解析へ